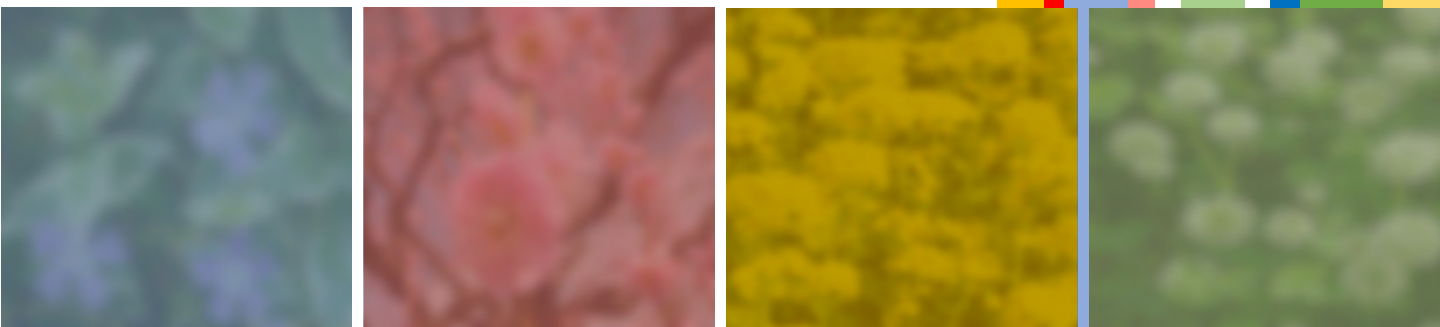


平成26年度

地域医療システム学寄附講座
/ 熊本県地域医療支援機構

活 動 報 告 書



熊本大学医学部附属病院

地域医療システム学寄附講座
熊本県地域医療支援機構

目次

1. はじめに

- 1) 地域医療支援センター長挨拶
- 2) 年間行事スケジュール

2. 教育学習プログラム

- 1) 医学部カリキュラム
- 2) 地域医療ゼミ
- 3) 夏季学生地域医療実習

3. 各種活動

- 1) シンポジウム・セミナー
- 2) 講演会での講師

4. 業績

- 1) 学会発表
- 2) 論文
- 3) 診療支援・その他

付録

- (1) 熊本県地域医療実習推進検討ワークショップまとめ
- (2) 平成26年度 夏季学生地域医療実習レポート
- (3) 教員による1年の振り返り

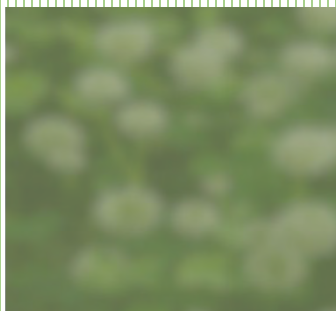
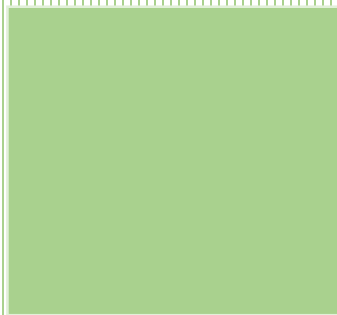
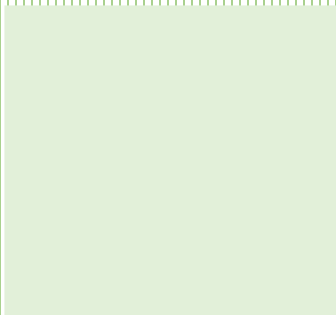
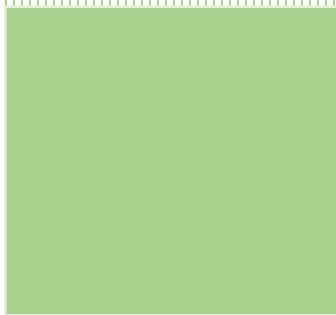
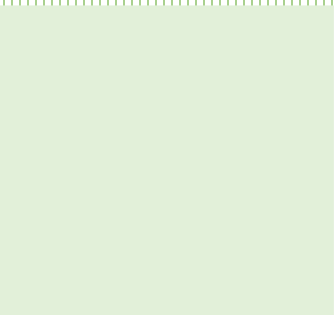
あとがき



1.はじめに

1)センター長挨拶

2)年間スケジュール





松井 邦彦
熊本大学医学部附属病院
地域医療システム学寄附講座
特任教授

熊本大学医学部附属病院地域医療システム学寄附講座は、熊本県からの寄附により熊大病院に設置された講座です。平成21年の開設以降、講座の発展にご尽力いただいた黒田 豊先生から引き継ぎ、平成26年4月より新しい体制となると同時に、熊大病院に地域医療支援センター（熊本県地域医療支援機構）も設置され、共同で活動を行ってきました。本寄附講座は、他の熊本県寄附講座と共に、このセンターを形成する一部という熊大病院内の位置づけになっています。地域医療システム学寄附講座/地域医療支援センターは、その名の通り、熊本の地域医療の問題をシステムの問題として捉え、それを改善、解決へ導くという使命を担っています。新しい顔ぶれが集い、手探りの中で仕事を進めてきた、

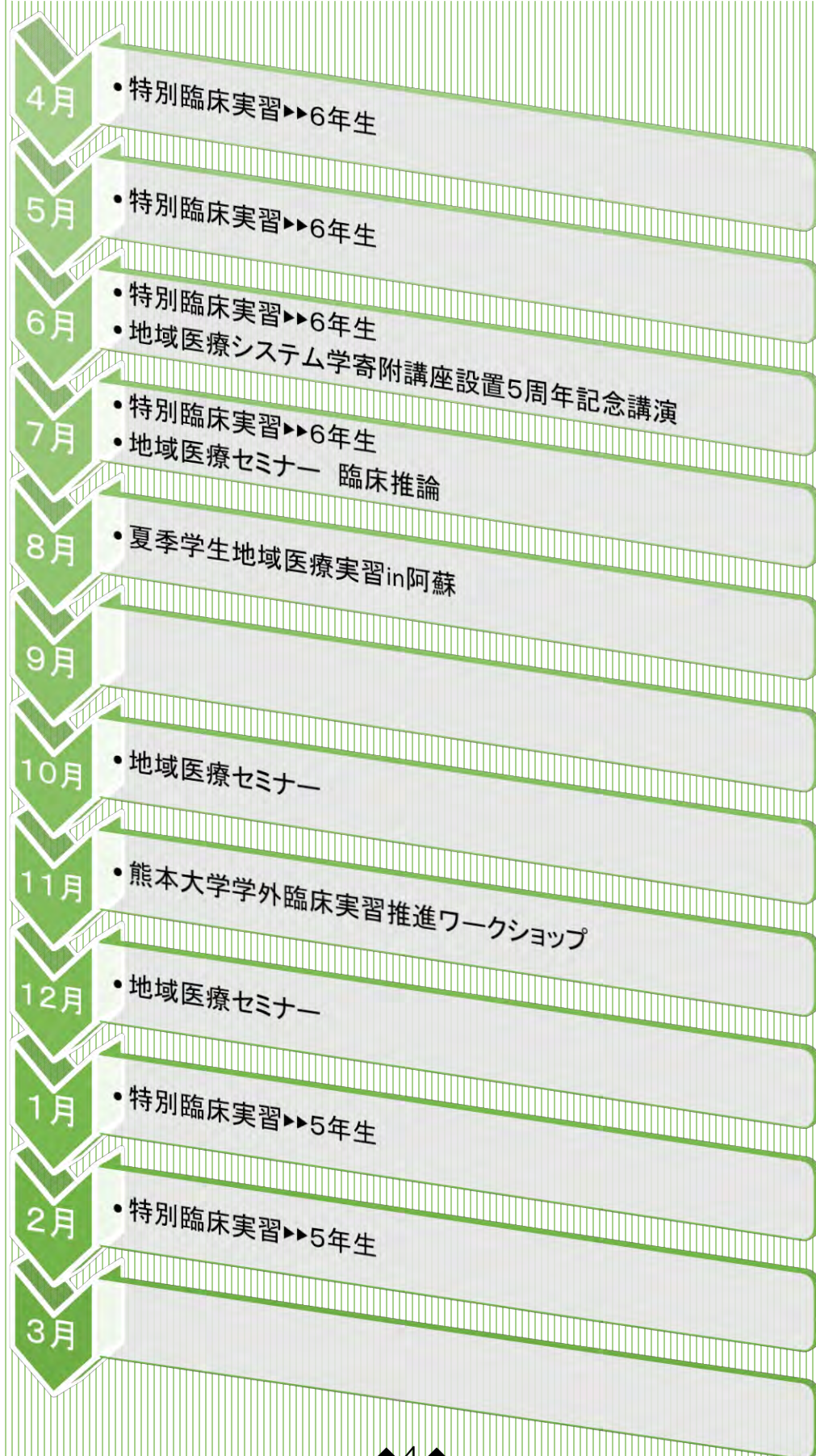
あっという間の一年でした。本報告書は、この一年の取り組みをまとめたものです。

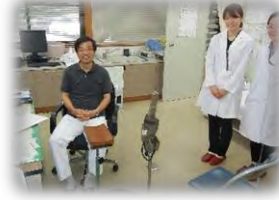
皆様ご存知の通り、熊本県は他県と比べ、決して医師が不足しているという状況ではありません。しかしながら熊本市内外の差、いわゆる医師の地域偏在が大きな問題となっています。このような状況を改善し解決へ導くために、長期的な展望の中、戦略的に取り組みを進めていく必要があります。それは単に医師が足りない施設へ診療支援を短期的に行うことに留まりません。実際、全ての地域の施設のご希望に、大学病院にいる私たちが継続的に対応することは不可能です。私たちは、卒前教育にはじまり、卒後の臨床研修、更には専門医育成から生涯教育まで、熊本県内の地域で働く医師のために継続したキャリア支援や教育体制を整えることが、重要と考えています。

地域医療システム学寄附講座と支援センターは、それぞれの役割がありますが、この一年の活動を振り返ってみると、熊大医学部の県医師修学資金貸与学生への教育やキャリアパス支援はもとより、一般学生や若手医師に対しても、卒前から卒後教育の中で、総合診療専門医の育成や地域医療に関した、さまざまな教育活動を行ってきました。この春に初めて、県医師修学資金貸与の熊大生3人が卒業し、国家試験も無事合格されました。県内の研修施設で臨床研修を開始されますが、私たちは彼らの研修を支援し、将来の熊本県内での活躍を期待するところです。

最後に、地域医療システム学寄附講座は、来年度末をもって一旦終了となります。このため、これから始まる平成27年度は、この七年間の集大成という位置づけになる筈ですが、まだまだたくさんの課題が山積している状態です。この一年、お世話になりました。県内各医療機関や熊本県はもとより、熊本大学、熊大病院の皆様方に感謝を申し上げますと同時に、今後とも当講座/センターの私共へ、ご指導ご鞭撻のほどを、よろしくお願い申し上げます。

年間行事スケジュール







2. 教育学習プログラム

1) 医学部カリキュラム

2) 地域医療ゼミ

3) 夏季学生地域医療実習



教育学習プログラム

1

医学部カリキュラム

平成26年度は、元々、「総合診療」、「地域医療」関連の授業、実習を行ったり委託を受けて合同で行った。平成27年度からは、1年生では医学概論、2年生では早期体験実習Ⅱおよび医学英語、3年生では公衆衛生学、等を新たに担当する事となり、更に拡充した臨床医学教育を実施する予定である。

医学概論 担当:谷口、後藤

- 平成26年度は、医学概論の中で、「喫煙と社会」のテーマで1コマ授業を担当した。平成27年度は、同じ医学概論の中で、臨床医学教育研究センターと共同で、以下の4コマの授業を担当することを予定である。
コミュニケーション、プロフェッショナリズム、男女共同参画、喫煙と社会

回数	実施日	曜日	時限	内容
13	7月7日	月	4	喫煙と社会

早期社会体験実習 担当:谷口、松井、小山

- 平成26年度は、従来公衆衛生学が担当していた「早期社会体験実習」を臨床医学教育研究センターと共同で担当する事となった。1週間の老健施設、障がい児施設、療養型臨床施設、等の体験実習を実施した。平成27年度は、新カリキュラムの展開の中で「早期臨床体験実習Ⅰ」として同様な実習を担当する予定である。

回数	実施日	曜日	時限	内容
1~4	9月8日	月曜	1~4	学内オリエンテーション 学内グループワーク 学外指導施設・オリエンテーション
5~8	9月9日	火曜	1~4	保健・医療・福祉の臨場体験学習
9~12	9月10日	水曜	1~4	保健・医療・福祉の臨場体験学習
13~16	9月11日	木曜	1~4	保健・医療・福祉の臨場体験学習
17~20	9月12日	金曜	1~4	保健・医療・福祉の臨場体験学習
21、22	9月30日	火曜	3、4	報告会
23、24	10月7日	火曜	3、4	報告会

総合診療学「臨床入門」 担当:谷口、松井、小山

- 平成26年度は、従来総合診療部として行っていた授業を、引き続き8コマ授業を行った。平成27年度も同様に授業を行う予定である。

臨床実習入門 担当:谷口、松井、小山

- 平成26年度は、主に「医療面接」等の授業および実習の一部を担当した。平成27年度も同様に授業および実習の一部を行う予定である。

チュートリアル 担当:谷口、松井、小山

- 平成26年度は、特に「地域医療」をテーマとしたシナリオを作成し、授業や実習を行った。また、チュートリアル運営者としても関わった。平成27年度も必要に応じて関わる予定である。

1
学年

4
学年

5・6学年

特別臨床実習 担当:谷口、松井、小山

●特別臨床実習は、医学科カリキュラムの中で、大学病院における臨床実習後の5年生終わりから6年生始めにかけ、3週間を1タームとし、全7ターム(第1・第2タームは5年次、第3～第7タームは6年次)にわたって大学病院外において実施されているプログラムである。地域医療システム学寄附講座が提供するプログラムでは、学生が1週間単位で最大3病院までを選択し、地域における医療の現状を泊り込みで体験する。

平成25年度・平成26年度の提供は、全4タームで1タームごとの定員も4名毎であったが、平成26年度・平成27年度の提供では、全7タームで定員も6名に増やして実施している。

また、提供する医療機関もさらに拡充し、従来の人吉医療センター、上天草総合病院、公立小国病院、山都町包括医療センターそよう病院に加え、新たに熊本赤十字病院総合内科、公立玉名中央病院を追加し、実施した。

なお、「救急・総合診療部」の特別臨床実習においては、「総合診療科」での実習希望者の対応を行っている。

6学年

平成25・26年度実施の6年生を対象とする特別臨床実習は、上天草総合病院、人吉医療センター、そよう病院及び小国公立病院の4病院の協力を得て、第3～第6タームの3ターム限定のプログラムを提供した結果、10人の学生が地域医療実習に参加した。

第4ターム 4月28日～5月23日

病院名	第1週	第2週	第3週
・上天草総合病院	1人	1人	2人
・人吉医療センター	2人	1人	1人
・そよう病院		1人	
・小国公立病院	1人	1人	1人

第5ターム 5月26日～6月13日

病院名	第1週	第2週	第3週
・上天草総合病院	2人	2人	1人
・人吉医療センター	1人	1人	2人
・そよう病院	1人		1人
・小国公立病院	1人	2人	1人

第6ターム 6月16日～7月4日

病院名	第1週	第2週	第3週
・上天草総合病院	1人		
・そよう病院			1人
・小国公立病院		1人	

5学年

平成26・27年度実施の5年生を対象とする特別臨床実習は、上天草総合病院、人吉医療センター、そよう病院、小国公立病院、玉名中央病院及び熊本赤十字病院の6病院の協力を得て、2タームのプログラムを提供した結果、10人の学生が地域医療実習に参加した。

第1ターム 1月13日～1月30日

病院名	第1週	第2週	第3週
・玉名中央病院	1人		
・上天草総合病院	2人	2人	1人
・人吉医療センター	2人	1人	2人
・そよう病院	1人	1人	1人
・小国公立病院		1人	1人
・熊本赤十字病院		1人	1人

第2ターム 2月2日～2月20日

病院名	第1週	第2週	第3週
・上天草総合病院	1人		
・人吉医療センター	2人	1人	1人
・そよう病院	1人	1人	1人
・小国公立病院		2人	2人

主に地域枠入学関連の学生を対象に、正規の授業カリキュラム外で、希望者が主体で、毎月地域医療に関する様々なテーマでゼミを開催している。
尚、地域枠学生以外でも希望者がいれば受け入れている。

第1回 地域医療ゼミ 【新入生紹介、年間活動計画】

日時:2014年4月24日(木) 18:30~20:00

場所:医学部臨床医学教育研究センター

参加人数:29名

第2回 地域医療ゼミ 【夏季学生地域医療実習準備、歓迎会】

日時:2014年5月29日(木) 18:30~20:00

場所:医学部臨床医学教育研究センター

参加人数:27名

第3回 地域医療ゼミ 【夏季学生地域医療実習準備】

日時:2014年6月26日(木) 18:30~20:00

場所:医学部臨床医学教育研究センター

参加人数:22名

第4回 地域医療ゼミ 【夏季学生地域医療実習準備】

日時:2014年7月24日(木) 18:30~20:00

場所:医学部臨床医学教育研究センター

参加人数:18名

第5回 地域医療ゼミ 【夏季学生地域医療実習反省】

2014年9月18日(木) 18:30~20:00

場所:医学部臨床医学教育研究センター

参加人数:24名

第6回 地域医療ゼミ 【夏季学生地域医療実習反省】

日時:2014年10月23日(木) 18:30~20:00

場所:医学部臨床医学教育研究センター

参加人数:22名

第7回 地域医療ゼミ 【臨床推論】

日時:2014年11月27日(木) 18:30~20:00

場所:医学部臨床医学教育研究センター

参加人数:13名

第8回 地域医療ゼミ 【臨床推論】

日時:2014年12月11日(木) 18:30~20:00

場所:中央診療棟7階 中央手術部 ミーティング室

参加人数:29名

第9回 地域医療ゼミ 【臨床推論】

日時:2015年1月22日(木) 18:30~20:00

場所:中央診療棟7階 総合臨床研修センター カンファレンス室

参加人数:25名

第10回 地域医療ゼミ 【臨床推論】

日時:2015年2月26日(木) 18:30~20:00

場所:中央診療棟7階 総合臨床研修センター カンファレンス室

参加人数:14名

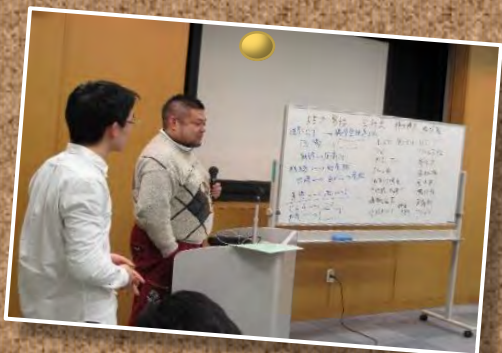
第11回 地域医療ゼミ 【特別講演、卒業生歓送会】

日時:2015年3月13日(金) 15:00~17:45

場所:くまもと県民交流館パレア9階 会議室4

講師 埼玉北部医療センター 黒田 豊 副院長
そよう病院 古賀 義規 医師

参加人数:39名



日程

8月18日(月)

- 午前 移動 (熊大
→ 阿蘇医療センター)
- 午後 地域住民との意見交換会
地域住民との意見交換会
講話
◆熊本県健康福祉部健康局
医療政策課
立川 優 課長
◆阿蘇医療センター
甲斐 豊 病院長
◆三重県立一志病院
鶴田 真三 医師
◆福島県立医科大学
地域・家庭医療学講座
高柳 宏史 助手
◆三重大学大学院医学系
研究科家庭医療学分野
北村 大 助教
- 夕方 移動 (阿蘇医療センター
→ 湯の谷リゾートホテル)
懇親会

8月19日(火)

- 終日 病院・診療所等における
実習・体験
阿蘇医療センター、
小国公立病院、そよう病院、
阿蘇温泉病院、問端内科、
おぐに整形外科、蓮田医院、
坂梨ハートクリニック、
寺崎内科胃腸科クリニック、
産山診療所、波野診療所

8月20日(水)

- 午前 発表会
午後 移動
(湯の谷リゾートホテル → 熊大)

夏季学生地域医療実習は、地域医療システム学
寄附講座が設置された平成21年度から始まり、今年
で6回目となる本講座最大の行事となっている。

その目的は、本講座の設置と同時にスタートした
熊本県医師修学資金貸与制度の受給学生に対し、毎月
実施している地域医療ゼミの延長として、フィールド
ワークにおいて実体験することで、地域医療の抱える
問題を自ら学び深く理解してもらうことや地域医療の
魅力を発見してもらうことであり、更には、将来地域医
療に従事する際に、仲間として密に接することになるで
あろう、熊本県出身の自治医科大生と友好を育む機
会を提供するという意味も持っている。

これまでは、球磨、天草、阿蘇等のいわゆる
「へき地」の地域医療実習を行ってきたが、今年度は、
阿蘇医療センター、小国公立病院、そよう病院及び
阿蘇郡市医師会の協力を得て阿蘇医療圏全体を対象
に地域医療実習を実施した。

【地域住民との意見交換会及び講話の様子】



東日本大震災後の福島の
状況について、熱く語られる
高柳先生



学生達の発表に耳を傾けられる
地域住民の方々



小国公立病院



阿蘇医療センター



そよう病院



産山診療所



波野診療所

学生のレポートは付録7ページより



3. 各種活動

1) シンポジウム・セミナー

2) 講演会での講師



各種活動

1

シンポジウム・セミナー

地域医療支援センターおよび地域医療システム学寄付講座が合同で、新たに「地域医療・総合診療グランドラウンド」を開始し、1回／2～3ヶ月の割合で定期的開催した。今後も継続的に開催していく予定である。また、地域医療システム学寄付講座設置5周年記念講演会、臨床実習推進ワークショップ、男女共同参画関連のセミナー等も開催した。

地域医療システム学寄附講座設置5周年記念講演会

平成26年6月23日(月)、熊本市医師会館にて、地域医療システム学寄附講座設置5周年記念講演及び熊本県地域医療支援機構業務説明会を開催した。

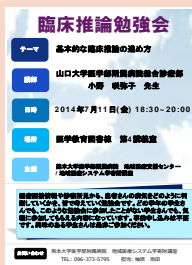
当日は、熊本県内の医療関係者及び行政関係者など約80名が参加し、本機構から平成21年1月に熊本大学医学部附属病院に設置された、地域医療システム学寄附講座と、平成25年12月に発足した熊本県地域医療支援機構が連携して、今後活動していくにあたり、地域医療に関する多くの課題を報告し、併せて地域医療支援活動をより効果的に進めていく方針を説明するとともに活発な意見交換があった。

松井特任教授から『地域医療システム学寄附講座のこれからの役割』と題して、県内の医師数が熊本都市圏に集中している現状が紹介され「医師の適切な配置に向け、大学と地域医療機関を医師が循環するようなシステム作りだけでなく、学生に対する地域での実習の拡充や、総合診療医の育成に取り組む必要がある」と提言された。

竹村教授は『大学の地域医療への係わり』と題して、三重県での取組事例を紹介され、「公的病院の医師確保については、市町村と大学の連携が欠かせない」と述べられた。



第1回 地域医療・総合診療グランドラウンド 『基本的な「臨床推論」の進め方』



平成26年7月11日(金) 18:30～20:30

医学教育図書棟 第4講義室

講師：山口大学医学部附属病院 総合診療部 小野 咲弥子 医師

参加人数：21名

外来を受診した、実際の症例をもとに、どのように情報を集め診断を進めていくかといったことを学んだ。

第2回 地域医療・総合診療グランドラウンド 『総合診療医のキャリア』

平成26年10月24日(金) 17:00～18:15

総合臨床研修センター カンファレンス室

講師：兵庫医科大学総合内科 森本 剛 教授

参加人数：11名

森本先生ご自身の経歴より、総合診療医の目指すキャリアは、診療、教育、さらには研究と広く多彩な可能性があることを学んだ。



平成26年11月16日(日)9:00~15:00
 中央診療棟7階 総合臨床研修センター
 参加人数:委員15名 内部委員5名

平成26年11月16日(日)、熊本大学医学部附属病院 中央診療棟7階 総合臨床研修センターにおいて、熊本大学学外臨床実習推進ワークショップを開催した。

現在、文部科学省が医学部学生の学習目標を定めたモデル・コア・カリキュラムの中では、地域医療実習に関する目標が定められているが、現実には受け入れ側の施設の責任において実施されている。

施設の個性や特性を重視した教育も必要ではあるが、学習目標、教育方法、あるいは評価方法などについて、大学の教員と地域の施設の先生方が共通の認識を持つことは重要であり、それに基づいた教育プログラムを学生へ提示することは極めて重要な問題である。

このような問題を改善すべく、熊本県地域医療支援機構と連携し、臨床実習プログラムの検討を行い、その結果を具申書としてまとめ、医学部長へ提言を行った。

第3回 地域医療・総合診療グランドラウンド 『地域包括ケア、総合診療について』

平成26年12月18日(木)18:00~19:15
 医学教育図書棟4階 第3講義室
 講師:飯塚病院総合診療科 井村 洋 部長
 参加人数:14名

高齢化社会を迎え、地域包括ケアなどの新たな制度が導入される中、総合診療はどのように対応していくべきかについて学んだ。



第4回 地域医療・総合診療グランドラウンド 『Differential Diagnosis during Interview』



平成27年2月20日(金)18:00~20:15
 臨床医学教育研究センター 奥窪記念ホール
 講師:聖路加・ライフサイエンス研究所臨床疫学センター
 ゴウタム・デシパンデ 上席研究員
 参加人数:19名

Dr. Deshpandeは、Penn State大学医学部で医師免許を取得した後、カリフォルニア大学-San Diego内科、ハワイ大学医学部 (Chief Resident)、同大助教を経てアメリカ大使館所属の総合医として勤務しておられる。

同時に、聖路加国際病院のsenior researcherとしても勤務されており、国内外で総合医育成に関する教育において、幅広く活躍されている。

熊本大学地域医療支援機構も「総合医育成」を一つの目的としており、今回は「Differential Diagnosis during Interview」と題して、問診から診断に至るプロセスについて、詳細かつ分かりやすく講演して頂いた。

特に強調されたのは、「診断に至る過程において、多くの医師は検査を中心に診断を進めがちであるが、最も優先すべきは、患者における安全性の担保であり、診断プロセスにおいて、最も安全なのは「問診」である。」という点であった。この最も重要な問診における技術について、重点的に豊富な情報が与えられた。参加者は、熊本県全土から主に地域医療に深く関わる医師や地域医療に興味を持つ医学部学生が集い、多くの方々からの高い評価を頂いた。

総合医の重要性が多方面で叫ばれる昨今、熊本県下においてもそれは例外ではなく、これから更にその必要性は増すことが予想される。この様な状況において、地域医療支援機構が開催する総合医育成の為の貴重な機会は、更に広い範囲で、より多くの方々に周知され、参加して頂けることが期待される。

大学の内外で医学教育、指導医養成講習会、総合診療、心肺蘇生法、男女共同参画、その他のテーマでの講習会・講演会やワークショップの活動を行った。

松井 邦彦 特任教授

第4回プライマリ・ケア認定医/指導医セミナー開催

日時 2014年6月22日
場所 熊本大学医学部附属病院
内容 『EBMに関して』

熊本大学医学部附属病院群 臨床研修指導医養成講習会

日時 2014年8月22日～23日
場所 熊本大学医学部附属病院
内容 タスクフォース

平成26年度第一回熊本県公的病院長会総会

日時 2014年9月12日
場所 熊本
内容 『熊本における総合診療医育成の現状と展望』

熊本医師会 平成26年度日本医師会生涯教育講座

日時 2014年10月11日
場所 熊本大学医学部附属病院
内容 『症例から学ぶ総合診療医の役割』

山口大学医学部附属病院 臨床研修指導医養成講習会

日時 2014年10月31日～11月1日
場所 山口 ANA クラウンプラザホテル宇都
内容 タスクフォース

学外臨床実習に関するワークショップ

日時 2014年11月16日
場所 熊本大学医学部附属病院
内容 タスクフォース

第260回 湖東症例検討会

日時 2015年1月26日
場所 熊本市市民病院 新館4階 第1会議室
内容 『感染症における身体診察の意義を再考する:臨床疫学的な考え方をもとに』

学術講演会

日時 2015年2月12日

場所 荒尾市医師会館

内容 『症例から学ぶ総合臨床医の役割—新たな専門医制度を含む—』

公開特別講演会

日時 2015年2月13日

場所 山鹿市民医療センター

谷口 純一 特任准教授

熊本大学医学部附属病院新入職員オリエンテーション

日時 2014年4月2日

内容 『臨床倫理に関して』

熊本大学医学部附属病院新入職員BLS研修会

日時 2014年5月12日

場所 熊本大学医学部附属病院

内容 『心肺蘇生法』

日本内科学会 JMECC講習会

日時 2014年6月22日

場所 東京 日内会館

内容 インストラクター

第4回プライマリ・ケア認定医/指導医セミナー開催

日時 2014年6月22日

場所 熊本大学医学部附属病院

内容 『精神診療、Common disease等に関して』

地域医療支援センター講演会

日時 2014年6月23日

場所 熊本市医療医師会会館

内容 『機構業務について』

熊本大学医学部附属病院群 臨床研修指導医養成講習会

日時 2014年8月22日～23日

場所 熊本大学医学部附属病院

内容 タスクフォース

日本内科学会 JMECC指導者講習会

日時 2014年8月30日

場所 東京 日内会館

内容 インストラクター

熊本大学医学部 医学教育FDワークショップ

日時 2014年9月21日

場所 熊本大学医学部

内容 タスクフォース

全国自治病院協議会臨床研修指導医養成講習会

日時 2014年9月26日～28日
場所 東京 都市センターホテル
内容 タスクフォース

熊本市医師会学術アーベント

日時 2014年10月4日
場所 熊本市医師会
内容 講演会 座長

熊本大学医学部附属病院臨床研修病院群ICLS講習会

日時 2014年10月4日
場所 熊本大学医学部附属病院
内容 ディレクター

山口大学医学部附属病院 臨床研修指導医養成講習会

日時 2014年10月31日～11月1日
場所 山口 ANA クラウンプラザホテル宇都
内容 タスクフォース

学外臨床実習に関するワークショップ

日時 2014年11月16日
場所 熊本大学医学部附属病院
内容 タスクフォース

九州大学病院 臨床研修指導医養成講習会

日時 2014年11月28日～29日
場所 九州大学医学部附属病院
内容 タスクフォース

福岡大学医学部附属病院 臨床研修指導医養成講習会

日時 2014年12月12日～13日
場所 福岡 八幡ロイヤルホテル
内容 タスクフォース

熊本大学医学部附属病院看護部BLS講習会

日時 2015年1月24日
場所 熊本大学医学部附属病院
内容 ディレクター

産業医科大学病院 臨床研修指導医養成講習会

日時 2015年2月6日～7日
場所 福岡 博多ロイヤルホテル
内容 タスクフォース

熊本大学医学部附属病院臨床研修病院群ICLS講習会

日時 2015年3月14日
場所 熊本大学医学部附属病院
内容 ディレクター

日本内科学会JMECC指導者講習会および講習会

日時 2015年3月28日～29日
場所 東京 日内会館
内容 ディレクター

小山 耕太 特任助教

第4回プライマリ・ケア認定医/指導医セミナー開催

日時 2014年6月22日
場所 熊本大学医学部附属病院
内容 『感染症、Common disease等に関して』

学外臨床実習に関するワークショップ

日時 2014年11月16日
場所 熊本大学医学部附属病院
内容 タスクフォース

梶尾 勇介 特任助教

SAMURAIミーティング ～エビリファイ勉強会～

日時 2014年4月18日
場所 ホテルニューオータニ熊本 3階『祥雲』
内容 『急性期躁症状に対するアリピプラゾールの有用性の検討』

ABILIFY Usage Experience Meeting

日時 2014年5月16日
場所 ホテル日航熊本7階「ガーデンバンケット」
内容 『双極性障害急性期躁症状に対するアリピプラゾールの有用性の検討』

精神科臨床セミナー平成26年度第3回

日時 2014年5月19日
内容 『統合失調症について』

城南看護師研修会

日時 2014年11月29日
場所 八代セレクトロイヤルホテル
内容 『精神科クリニカルパス・精神科薬物治療の基本』

「エビリファイを使いこなすin 名古屋」

日時 2015年2月12日
場所 東急ホテル名古屋
内容 『アリピプラゾールは急性躁状態に対して有効なのか』

後藤 理英子 特任助教

第1回男女共同参画医師支援セミナー

日時 2014年9月30日

場所 山崎記念館

内容 『先輩医師に学ぶ: キャリア形成とワークライフバランスの多様性』

第1回男女共同参画医師支援セミナー

日時 2014年12月12日

場所 医学教育図書棟3階第一講義室

内容 『女性医師のキャリアを考える』

平成26年度医学生、研修医等をサポートするための会

日時 2015年2月22日

場所 臨床医学教育研究センター 奥窪記念ホール

内容 『医師のワークライフバランスとタイムマネジメント』

第2回男女共同参画医師・看護師等支援セミナー

日時 2015年3月19日

場所 玉名中央病院 2階大ホール

内容 『医師・看護師等の男女共同参画とキャリア形成について考える』



4.業績

1)学会発表

2)論文

3)診療支援・その他



各教員が地域医療をはじめ、各専門領域に関する学会発表を行った。

谷口 純一 特任准教授

第4回 九州地域医療研究会

2014年4月19日

『熊本大学医学部の卒前教育における地域医療教育の現状と将来展望』

第46回 日本医学教育学会

2014年7月19日

『初期研修における地域医療研修での研修医の地域医療に関する意識調査』

第8回 熊本医療・福祉・保険連合学会

2015年2月1日

『「地域包括ケアシステムの構築をめざして」～熊本県内における地域での「かかりつけ医」』

青井 淳 特任助教

第30回 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

2014年7月4日

『悪性黒色腫との鑑別を要した乳房外Paget 病の1例』

小山 耕太 特任助教

第10回 日本病院総合診療医学会学術総会

2015年2月27日～28日

『「新興感染症菌ヘリコバクター・シネディの基礎研究から臨床疫学研究への展開」』

梶尾 勇介 特任助教

第90回 熊本精神神経学会

2014年7月12日

『双極性障害Ⅰ型障害及びⅡ型障害、躁状態患者に対するAripiprazoleの有用性に関する検討』

後藤 理英子 特任助教

第87回 日本内分泌学会学術総会

2014年4月24日～26日

『アルドステロン過剰状態は膵島の慢性炎症によるβ細胞障害を引き起こす』

第57回 日本糖尿病学会年次学術集会

2014年5月22日～24日

『アルドステロン過剰状態によるβ細胞障害は膵島の慢性炎症によって引き起こされる』

The 7th International Aldosterone Forum in Japan

2014年5月31日

『The Role of Aldosterone in the Pathogenesis of Diabetes in Human and Rats』

第52回 日本糖尿病学会九州地方会

2014年10月31日～11月1日

『アルドステロン過剰状態は膵島細胞における内因性サイトカインに変化を起こす』

各教員が、各専門領域に関する論文の執筆・共同執筆を行った。

松井 邦彦 特任教授

Endothelial function and cardiovascular events in chronic kidney disease.

Hirata Y, Sugiyama S, Yamamoto E, Matsuzawa Y, Akiyama E, Kusaka H, Fujisue K, Kurokawa H, Matsubara J, Sugamura K, Maeda H, Iwashita S, Jinnouchi H, **Matsui K**, Ogawa H.

Int J Cardiol. 2014 May 15;173(3):481-6. doi: 10.1016/j.ijcard.2014.03.085. Epub 2014 Mar 20.

PMID: 24703800

Impact of CYP3A5 polymorphism on platelet reactivity at percutaneous coronary intervention and after 9 months of aspirin and clopidogrel therapy in Japanese patients with coronary artery disease.

Hokimoto S, Chitose T, Mizobe M, Akasaka T, Arima Y, Kaikita K, Iwashita S, Morita K, Miyazaki H, Oniki K, **Matsui K**, Nakagawa K, Ogawa H.

Eur J Clin Pharmacol. 2014 Jun;70(6):667-73. doi: 10.1007/s00228-014-1672-3. Epub 2014 Apr 26.

PMID: 24763934

Importance of pericardial fat in the formation of complex fractionated atrial electrogram region in atrial fibrillation.

Kanazawa H, Yamabe H, Enomoto K, Koyama J, Morihisa K, Hoshiyama T, **Matsui K**, Ogawa H.

Int J Cardiol. 2014 Jul 1;174(3):557-64. doi: 10.1016/j.ijcard.2014.04.135. Epub 2014 Apr 21.

PMID: 24834998

Incremental prognostic significance of the elevated levels of pentraxin 3 in patients with heart failure with normal left ventricular ejection fraction.

Matsubara J, Sugiyama S, Nozaki T, Akiyama E, Matsuzawa Y, Kurokawa H, Maeda H, Fujisue K, Sugamura K, Yamamoto E, **Matsui K**, Jinnouchi H, Ogawa H.

J Am Heart Assoc. 2014 Jul 10;3(4). pii: e000928. doi: 10.1161/JAHA.114.000928.

PMID: 25012287

Clinical outcomes of percutaneous coronary intervention (PCI) at hospital with or without onsite cardiac surgery backup.

Akasaka T, Hokimoto S, Oshima S, Nakao K, Fujimoto K, Miyao Y, Shimomura H, Tsunoda R, Hirose T, Kajiwarra I, Matsumura T, Nakamura N, Yamamoto N, Koide S, Oka H, Morikami Y, Sakaino N, Kaikita K, Nakamura S, **Matsui K**, Ogawa H; Kumamoto Intervention Conference Study (KICS) Investigators.

Int J Cardiol. 2014 Oct 20;176(3):1385-7. doi: 10.1016/j.ijcard.2014.08.027. Epub 2014 Aug 10. No abstract available.

PMID: 25156861

Differences between rosuvastatin and atorvastatin in lipid-lowering action and effect on glucose metabolism in Japanese hypercholesterolemic patients with concurrent diabetes. Lipid-lowering with highly potent statins in hyperlipidemia with type 2 diabetes patients (LISTEN) study ?.

Ogawa H, **Matsui K**, Saito Y, Sugiyama S, Jinnouchi H, Sugawara M, Masuda I, Mori H, Waki M, Yoshiyama M, Watada H.

Circ J. 2014;78(10):2512-5. Epub 2014 Sep 2.

PMID: 25186922

Chronic kidney disease status modifies the association of CYP2C19 polymorphism in predicting clinical outcomes following coronary stent implantation.

Tabata N, Hokimoto S, Akasaka T, Arima Y, Kaikita K, Kumagai N, Morita K, Miyazaki H, Oniki K, Nakagawa K, **Matsui K**, Ogawa H.

Thromb Res. 2014 Nov;134(5):939-44. doi: 10.1016/j.thromres.2014.07.039. Epub 2014 Aug 14.

PMID: 25201060

Differential effectiveness of ARB plus CCB therapy and high-dose ARB therapy in high-risk elderly hypertensive patients: Subanalysis of the OSCAR study.

Kim-Mitsuyama S, Ogawa H, **Matsui K**, Jinnouchi T, Jinnouchi H, Arakawa K.

Hypertens Res. 2015 Mar;38(3):199-207. doi: 10.1038/hr.2014.164. Epub 2014 Dec 4.

PMID: 25471234

Plaque REgression with Cholesterol absorption Inhibitor or Synthesis inhibitor Evaluated by IntraVascular UltraSound (PRECISE-IVUS Trial): Study protocol for a randomized controlled trial.

Tsujita K, Sugiyama S, Sumida H, Shimomura H, Yamashita T, Yamanaga K, Komura N, Sakamoto K, Ono T, Oka H, Nakao K, Nakamura S, Ishihara M, Matsui K, Sakaino N, Nakamura N, Yamamoto N, Koide S, Matsumura T, Fujimoto K, Tsunoda R, Morikami Y, Matsuyama K, Oshima S, Kaikita K, Hokimoto S, Ogawa H; for the PRECISE-IVUS study investigators.
J Cardiol. 2015 Jan 7. pii: S0914-5087(14)00364-5. doi: 10.1016/j.jcc.2014.12.011. [Epub ahead of print]
PMID: 25577723

Differential Effects of Strong and Regular Statins on the Clinical Outcome of Patients With Chronic Kidney Disease Following Coronary Stent Implantation.

Ishii M, Hokimoto S, Akasaka T, Fujimoto K, Miyao Y, Kaikita K, Oshima S, Nakao K, Shimomura H, Tsunoda R, Hirose T, Kajiwara I, Matsumura T, Nakamura N, Yamamoto N, Koide S, Oka H, Morikami Y, Sakaino N, Matsui K, Ogawa H; on behalf of the Kumamoto Intervention Conference Study (KICS) Investigators.
Circ J. 2015 Feb 24. [Epub ahead of print]
PMID: 25739954

Plaque REgression with Cholesterol absorption Inhibitor or Synthesis inhibitor Evaluated by IntraVascular UltraSound (PRECISE-IVUS Trial): Study protocol for a randomized controlled trial.

Tsujita K, Sugiyama S, Sumida H, Shimomura H, Yamashita T, Yamanaga K, Komura N, Sakamoto K, Ono T, Oka H, Nakao K, Nakamura S, Ishihara M, Matsui K, Sakaino N, Nakamura N, Yamamoto N, Koide S, Matsumura T, Fujimoto K, Tsunoda R, Morikami Y, Matsuyama K, Oshima S, Kaikita K, Hokimoto S, Ogawa H; for the PRECISE-IVUS study investigators.
J Cardiol. 2015 Jan 7. pii: S0914-5087(14)00364-5. doi: 10.1016/j.jcc.2014.12.011. [Epub ahead of print]
PMID: 25577723

Differential Effects of Strong and Regular Statins on the Clinical Outcome of Patients With Chronic Kidney Disease Following Coronary Stent Implantation.

Ishii M, Hokimoto S, Akasaka T, Fujimoto K, Miyao Y, Kaikita K, Oshima S, Nakao K, Shimomura H, Tsunoda R, Hirose T, Kajiwara I, Matsumura T, Nakamura N, Yamamoto N, Koide S, Oka H, Morikami Y, Sakaino N, Matsui K, Ogawa H; on behalf of the Kumamoto Intervention Conference Study (KICS) Investigators.
Circ J. 2015 Feb 24. [Epub ahead of print]
PMID: 25739954

谷口 純一 特任准教授

長時間陸路搬送された椎骨動脈損傷を伴う頸部穿通創の1例.

小寺厚志, 入江弘基, 安藤卓, 岩下晋輔, 谷口純一, 笠岡俊志, 木下順弘.
日本救急医学会雑誌 25 50-56, 2014.

An analysis of the relationship between Glasgow Coma Scale score and plasma glucose level according to the severity of hypoglycemia: the launch of Journal of Intensive Care

Atsushi Kotera, Shinsuke Iwashita, Hiroki Irie, Junichi Taniguchi,
Shunji Kasaoka and Yoshihiro Kinoshita
Journal of Intensive Care, 2:1 (03 Jan 2014)

Comparison of the McGrath MAC video laryngoscope and the Pentax Airwayscope during chest compression: a manikin study: the launch of Journal of Intensive Care

Atsushi Kotera, Hiroki Irie, Shinsuke Iwashita, Junichi Taniguchi, Shunji Kasaoka and Yoshihiro Kinoshita
Journal of Intensive Care, 2:18 (06 Mar 2014)

Comparison of the utility of the Pentax Airway Scope (AWS) with that of the conventional Macintosh laryngoscope during chest compression: is the AWS an easy-to-use device for a novice?

Atsushi Kotera, Hiroki Irie, Shinsuke Iwashita, Junichi Taniguchi, Shunji Kasaoka, Yoshihiro Kinoshita.
Acute Medicine and Surgery 1(3):163-169, 2014; doi:10.1002/ams2.35

Electrocardiogram findings of patients with serum potassium levels of nearly 10.0 mmol/L: a report of two cases.

Atsushi Kotera, Hiroki Irie, Shinsuke Iwashita, Junichi Taniguchi, Shunji Kasaoka, Katsuyuki Sagishima, Hidenobu Kamohara, Yoshihiro Kinoshita.
Acute Medicine and Surgery, 2014; doi: 10.1002/ams2.45

青井 淳 特任助教

Aesthetic reconstruction of defects in the lateral side wall of the nose using a local V-Y flap.

Aoi J, Masuguchi S, Fukushima S, Jinnin M, Ihn H.
J Dermatol, 41(11):1026-1028, 2014.

A simple and effective reconstructive technique for repairing defects of the upper lip using a hatchet flap.

Aoi J, Nagamoto E, Masuguchi S, Fukushima S, Jinnin M, Ihn H.
J Dermatol, 41(11):1025-1026, 2014.

A case of anaplastic large cell lymphoma of skeletal muscle.

Kubo Y, Aoi J, Johno T, Makino T, Sakai K, Masuguchi S, Fukushima S, Jinnin M, Ihn H.
J Dermatol, 41(11):999-1002, 2014.

Evaluation of sentinel node biopsy for cutaneous squamous cell carcinoma.

Fukushima S, Masuguchi S, Igata T, Harada M, Aoi J, Miyashita A, Nakahara S, Inoue Y, Jinnin M, Shiraishi S, Yamashita Y, Ishihara T, Ihn H.
J Dermatol, 41(6):539-41, 2014.

Knockout of endothelial cell-derived endothelin-1 attenuates skin fibrosis but accelerates cutaneous wound healing.

Makino K, Jinnin M, Aoi J, Kajihara I, Makino T, Fukushima S, Sakai K, Nakayama K, Emoto N, Yanagisawa M, Ihn H.
PLoS One, 9(5):e97972, 2014.

The secreted protein ANGPTL2 promotes metastasis of osteosarcoma cells through integrin $\alpha 5\beta 1$, p38 MAPK, and matrix metalloproteinases.

Odagiri H, Kadomatsu T, Endo M, Masuda T, Morioka MS, Fukuhara S, Miyamoto T, Kobayashi E, Miyata K, Aoi J, Horiguchi H, Nishimura N, Terada K, Yakushiji T, Manabe I, Mochizuki N, Mizuta H, Oike Y.
Sci Signal, 7(309):ra7, 2014.

小山 耕太 特任助教

Promotion of atherosclerosis by Helicobacter cinaedi infection that involves macrophage-driven proinflammatory responses.

Shahzada Khan, H. N. Ashiqur Rahman, Tatsuya Okamoto, Tetsuro Matsunaga, Yukio Fujiwara, Tomohiro Sawa, Jun Yoshitake, Katsuhiko Ono, Khandaker Ahtesham Ahmed, Md Mizanur Rahaman, Kohta Oyama, Motohiro Takeya, Tomoaki Ida, Yoshiaki Kawamura, Shigemoto Fujii, & Takaaki Akaike.*
Sci Rep. 4:4680, (2014)

梶尾 勇介 特任助教

A cross-sectional survey to investigate the prevalence of pain in Japanese patients with major depressive disorder and schizophrenia.

Kishi T, Matsuda Y, Mukai T, Matsunaga S, Yasue I, Fujita K, Okochi T, Hirano S, Kajio Y, Funahashi T, Akamatsu K, Ino K, Okuda M, Tabuse H, Iwata N.
Compr Psychiatry. 2015 Feb 17. pii: S0010-440X(15)00011-5. doi: 10.1016/j.comppsy.2015.02.004. [Epub ahead of print]
PMID:
25724075
[PubMed - as supplied by publisher]

熊本県の要請に応じ、主に阿蘇地域の公的病院の診療支援を行った。

また、医学教育関連の各種委員会、他大学等の非常勤講師、学会活動、地域医療関連のセミナー参加、男女共同参画会議等の出席、等を行った。

松井 邦彦 特任教授

- ・2014年4月～2015年3月 小国公立病院にて診療支援を行う
- ・熊本県地域医療支援機構理事を委嘱
- ・熊本県医療対策協議会委員を委嘱
- ・医療系大学間共用試験実施評価機構 医学系OSCE事後評価解析小委員会委員 課題改定専門部会委員 学習・評価項目改定専門部会委員
- ・2014年5月10～11日 日本プライマリ・ケア学会に出席
- ・2014年7月18～19日 日本医学教育学会に出席
- ・2015年1月12日 帝京-ハーバードプログラム講習会に出席
- ・2015年3月6日 聖路加国際病院総合内科の視察

谷口 純一 特任准教授

- ・2014年4月～3月 小国公立病院にて診療支援を行う
- ・2015年1月～3月 阿蘇医療センターにて診療支援を行う
- ・医療系大学間共用試験実施評価機構 医学系CBT実施小委員会ブラッシュアップ専門部会委員
- ・医療系大学間共用試験実施評価機構 医学系OSCE事後評価解析小委員会委員 課題改定専門部会委員 学習・評価項目改定専門部会委員
- ・九州大学医学部非常勤講師
- ・熊本県消防学校非常勤講師
- ・日本プライマリ・ケア連合学会 代議員
- ・2014年4月2日 熊本大学医学部新生ガイダンスに出席
- ・2014年4月11日 日本内科学会に出席
- ・2014年4月12～13日 医学部新生オリエンテーション(九重)に出席
- ・2014年5月10～11日 日本プライマリ・ケア学会に出席
- ・2014年7月26日 日本医師会男女共同参画フォーラムに出席
- ・2014年8月7日 熊本大学医学部オープンキャンパスに出席
- ・2014年10月29～30日 日本救急医学会に出席
- ・2014年11月13日 全国自治体病院協議会「地域医療再生フォーラム」に出席
- ・2014年11月15日 へき地医療医師の会講演会に出席
- ・2014年12月5～6日 岡山大学および同哲西町教育拠点の視察
- ・2014年12月7日 日本医師会男女共同参画九州ブロック会に出席
- ・2015年1月12日 帝京-ハーバードプログラム講習会に出席
- ・2015年2月20～21日 プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・講習会 に出席
- ・2015年3月6日 日本医療教授システム学会の出席
- ・同日聖路加国際病院総合内科の視察
- ・2015年3月7日 熊本県地域医療セミナーに出席

青井 淳 特任助教

- ・週に一度 公立多良木病院にて診療支援を行う
- ・週に一度 阿蘇医療センターにて診療支援を行う

小山 耕太 特任助教

- ・毎週月曜日 小国国立病院にて診療支援を行う
- ・毎月1回土曜日 八代市立病院にて診療支援を行う
- ・2014年5月10～11日 日本プライマリ・ケア学会に出席
- ・2014年7月18～19日 日本医学教育学会に出席
- ・2014年8月7日 熊本大学医学部オープンキャンパスに出席
- ・2015年1月16～18日 全国自治体病院指導医講習会に参加
- ・2015年1月30日 「リサーチマインドを持った総合診療医の養成」合同公開フォーラム2014に参加
- ・2015年2月1日 医療・保健・福祉連携学会にて司会進行を担当
- ・2015年2月20～21日 プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・講習会に出席
- ・2015年3月6日 聖路加国際病院総合内科の視察

梶尾 勇介 特任助教

- ・月に一度 天草病院にて診療支援を行う

後藤 理英子 特任助教

- ・2014年11月19日 平成26年度第1回医学部附属病院男女共同参画推進委員会にて報告を行う
- ・2014年11月26日 熊本県医師会男女共同参画委員会にて報告を行う
- ・2014年12月7日 女性医師支援センター事業九州ブロック別会議にて報告を行う
- ・2014年12月5～6日 岡山大学および同哲西町教育拠点の視察
- ・2015年2月19日 熊本県医療勤務環境改善支援センター開所式に出席
- ・2015年3月 医学部附属病院男女参画コーディネーターの回にて報告を行う

熊本日日新聞より

- ◆平成27年2月7日
- ◆平成27年2月14日
- ◆平成27年3月20日



平成27年(2015年)2月7日 土曜日



平成27年(2015年)2月14日 土曜日



平成27年(2015年)3月20日 金曜日

あ と が き

2014年度に地域医療支援センターが設置され、我々が赴任して活動を行って参りましたが、報告書を作成するにあたり、この一年間の我々の活動をあらためて振り返ってみる事が出来、感慨深いものでありました。

県の修学資金貸与生との関わり、実際の診療支援、総合診療専門医制度導入への準備、卒前の医学教育との関わり、学外の地域医療関係者との関わり、等々地域医療支援センターならではの活動を随分と行ってきたものと実感いたしました。もちろん、各教員、元々の診療、研究、教育、社会貢献関連活動も同時平行に関わり、それらとのバランスにも苦慮されたのではと推察するところもございます。

いずれにせよ、ただ、様々な方々と関わっただけでは無く、これから更に取り組んでいく具体的な形として、プライマリ・ケア学会認定の後期研修を開始する事ができ、実際に後期研修医が応募してもらったり、初期研修において県調整枠をいわゆる「地域医療・総合診療特科コース」として導入できたり、そして、何と云っても、「地域医療実践教育拠点」を玉名に設置できたりと、予想以上の成果だと感じるとともに、これから益々発展させていく責任も痛感しております。

最後に、この報告書にはあまり現れてはいないかもしれませんが、谷原前病院長を始め、大学内の様々な先生方、事務方等には多々ご指導・ご支援頂きました。また、当地域医療支援センターの事務部門のスタッフの方々、県庁の医療政策課の方々とも何度もミーティングを重ね、お互いの意識を共有化し、そして、我々の活動と一緒に多大なるご尽力を頂きました。地域医療の貢献の為にご理解頂いた全ての関係者に、あらためて感謝を申し上げます。

熊本大学医学部附属病院
地域医療システム学寄附講座 特任准教授
谷口 純一





平成26年度夏季学生地域医療実習懇親会

問い合わせ先

熊本大学医学部附属病院

地域医療システム学寄附講座 / 熊本県地域医療支援機構

〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1

TEL: 096-373-5794 FAX: 096-373-5796

ホームページ: <http://www.chiiki-iryo-kumamoto.org/>

E-mail: kumadaichiiki@kumamoto-u.ac.jp

平成26年度
地域医療システム学寄附講座 / 熊本県地域医療支援機構
活動報告書

